

公民館の建設問題

などを話し合う

○野田地区市政懇談会○

公民館事業の一環として野田地区市政懇談会が十月八日、野田公民館（田岡智館長）で開かれ、地域の住民や地元出身の議員、市の執行部など約三十人が出席して地元の抱える問題などを話し合いました。

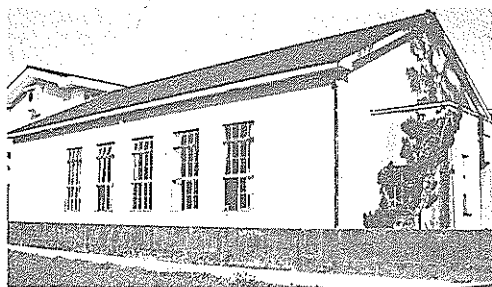
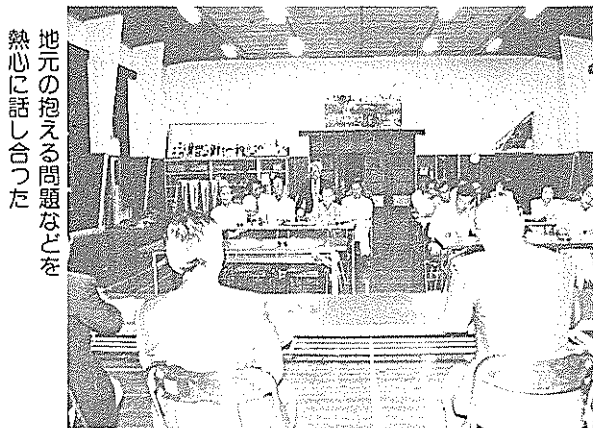
まず、田岡館長が「市の行政を具体的に理解し、我々の声を市政

に反映させる機会として実りある会にしてください」とあいさつした後、市長が市政の現状を報告。続いて話し合いに入りました。その主な内容は次のとおりです。

○地区公民館の建設が六年前から延び延びになっている。具体的に実現を。

●五十六年に用地取得をしている。グラウンドの水はけについては早期解決が必要だが、全面的な改修は経費の問題もあるため、当面部分改修で辛抱してもらいたい。

▲野田公民館



その他、道路や川の整備、ごみの不法投棄、航空機騒音、阿佐線の問題などについて約三時間にわたり熱心に討議しました。

移動図書館車

10月20日に出発式



出発式で教育長（写真左）らがテープカット



どこへ行っても図書館車は大人気（大篠小学校）

図書館があなたの地区へ、十月二十日、市立図書館前で移動図書館の出発式が行われました。

この移動図書館は、故郷尾キヨノさんの寄付を財源に実現したもので、児童図書や一般図書、絵本、紙芝居など千五百冊を積み込んで市内八コースを回ります。

出発式では、浜田助役、吉本南国市立図書館協議会長が「この移動図書館が市民の文化の盾になるように」とあいさつ。続いてテープカットを行い、移動図書館のテーマ曲、「八十日間世界一周」を流しながら出発しました。

ステーションでは付近の人や子供たちが大勢集まり、大人気でした。図書館車に積んでいない本もリクエストすれば次回持つて行くなど、担当者は「利用者のことを考えた市民に親しまれるものにしていきたい」と張り切っています。